

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和7年 第2回 川西市子どもの人権オンブズパーソン会議		
事 務 局 (担当課)		子どもの人権オンブズパーソン事務局 市長公室 人権推進多文化共生課 内 (内線 3453)		
開 催 日 時		令和7年12月12日(金) 午後1時30分～1 時55分		
開 催 場 所		川西市役所 5階 502会議室		
出席者	オンブズパーソン	渡邊 徹 (代表) 長瀬 正子 浜田 進士 計3名		
	調査相談専門員	平野 裕子 中村 誠吾 井口 由紀子 田中 智子 計4名		
	事 務 局	加茂 一哉		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会 議 次 第		日程1 会議録署名人の選任について 日程2 報告事項 2025(令和 7)年 1 月～11 月の相談状況について 日程3 協議事項 議案 第 3 号 2025(令和 7)年次の運営状況等の報告及び公表について		
会 議 結 果		別紙審議経過のとおり		

審 議 経 過

日程 1 会議録署名人の選任について

長瀬正子オンブズパーソンが選任された。

日程 2 報告事項

2025 年 1 月～11 月の相談受付状況について

井口相談員より、2025年1月～11月の相談受付状況について、月別のケース数、相談者数（新規数・オンブズ発信数）、相談回数、相談者の内訳、相談の方法（回数）、取扱いケースにおける学齢別相談内容、相談者別の訴え内容（回数・割合）、ケースにおいて問題となっている関係（件数）など、集計表にもとづいて報告があった。

主な報告内容は、

- ・相談件数では、ケース数が87件、相談回数が615回となっており、昨年と比べるとケース数は増加しているが、相談回数は少し減っている。
- ・相談者数では、計151人で、うち本年新規の相談者数が93人で、オンブズからの発信が31人となっている。
- ・本年新規の相談者の主な内訳としては、子どもが49人、保護者等が34人となっており、昨年と比較すると、子どもからの相談も、保護者からの相談も両方とも増加している。特に、本年は、前年と比べて中学生のケースが多くなっている。
- ・相談方法では、電話相談が、おとな115回、子ども60回、オンブズ事務局来所相談がおとな124回、子ども138回、オンブズくらぶでの相談が、おとな1回、子ども167回となっている。また、訪問による相談は、おとな7回、子ども3回となっている。相談回数の総数内訳は、おとなが247回、子どもが368回となっている。
- ・相談内容の特徴としては、学齢別で見ると、特に、中学生で「学校・保育所等の対応」「教職員の指導上の問題」などの相談が多くなっています。また、「家庭生活・家族関係」、「交友関係の悩み」などは、いずれの学齢においても相談されることが多くなっている。
- ・相談者別の訴えにおいては、子どもの相談では「学校・保育所等の対応」や「家庭生活・家族関係」「交友関係の悩み」が多くなっており、おとなの相談では「学校・保育所等の対応」や「子育ての悩み」「家庭生活・家族関係」についての相談が多くなっている。
- ・ケースにおいて問題となっている関係においても、昨年と比べると大きな変化はないものの、本年は表の上から2段目に示してある「子どもと学校・保育所・教職員等」の関係が問題になっているケースが増加している。

日程 3 協議事項

議案 第 3 号 2025年次の運営状況等の報告及び公表について

○議案説明

川西市子どもの人権オンブズパーソン条例第20条の規定により、2025年次における条例運営の状況等について、市長への文書報告及び公表を行うに当たり、報告事項及びその内容について、オンブズパーソン会議の審議を経る必要があるので、本案を提出する。

○協議経過

2025年次の運営状況等の報告及び公表については、「年次報告書（子どもオンブズ・レポート2025）」の章立てと編成内容(案)、及び「2025年次活動報告会」の開催内容企画(案)の提案が行われた。

「年次報告書」の編成内容については、第Ⅰ章で「部活動の社会移行」について

i 節では夏季研修の内容をもとにした報告を、ii 節では中学生へのインタビューをもとにした報告を、それぞれ掲載するとともに、第Ⅱ章では、過去にオンブズで相談経験のある若者へのインタビューを行った内容の報告について掲載すること、また、第Ⅲ章以下については概ね例年どおりとし、事例紹介やオンブズパーソンからのメッセージ等を掲載する、といった原案のとおり編成することが、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

一方、公表「2025 年次活動報告会」については、2026 年 3 月 21 日（土）にアステホールで開催すること、— 今年次のテーマを「子どもの権利に根ざした子ども施策を考える」とすること、— 報告形態・内容については、大きく「活動報告第 1 部」と「活動報告第 2 部」という形で構成することとし、活動報告第 1 部では、例年報告しているオンブズパーソン制度運営の概要報告（「2025 年次の活動概要報告」）に加えて、2024 年次に発出した提言（オンブズパーソン条例の一部改正）についての報告や、「子どもの最善の利益を追求する保育政策に向けて」をテーマに、2024 年自己発意調査第 1 号に基づく報告を行うほか、「保育の質ガイドライン」についての講演を録画ビデオで行っていただくこと、— さらに、市民等との意見交換等の時間を十分確保することに加え、質疑応答の時間を含め、これらの時間配分等について考慮し、案内チラシにもこれらのタイムスケジュールを記載すること、— また、活動報告の第 2 部では、「部活動の社会移行について」をテーマに、相談員からの報告とともに、オンブズパーソン 3 名による討論や意見交換を行うこと、— など、年次活動報告会の内容について審議を行い、原案を基に実施することが、オンブズパーソンの全会一致により決定された。

以 上